

# ヒロセ電機株式会社

## 2020年3月期 第1四半期 決算説明会 Q&A 要旨

---

### Q1：

スマホ向けの回復基調について、2Q以降の見立てはどうか。

### A1：

中国のお客様が例年より時期的に早期にオーダーが入ったので、例年より1Qが良かった。

2Qは季節的に上がる傾向はある。

### Q2：

ガバナンスに関して、どういう議論が社内でされているか紹介いただきたい。

### A2：

収益性の回復と株主還元策の双方のバランスも必要。株主の要求も高くなっている認識もあり時間が限られた中での判断も必要と感じている。また広くステークホルダーの腹落ち感も含めて検討する必要があると考える。

### Q3：

「その他収益」の土地売却益は計画に含まれているものか、また2Q以降で、特殊な利益や費用はあるか。

### A3：

本年度の計画に含まれているものだが、業績とは関係なく実施したもの。2Q以降の予定は現時点ではない。

**Q4 :**

自動車向けの売上実績、年間予想からすると進捗低いが問題ないか。

**A4 :**

自動車の販売不振(欧・米・中)の影響があった。若干の遅れも中期的な伸長の計画は現時点では変更ない。

**Q5 :**

産機向けに関して、下期から回復する見通しと聞いていたが、底打ち感と見通しの変化はあるか。

**A5 :**

米中問題等の影響から中国向け需要停滞などの影響あった。今後の見通し回復も不透明感あるが、在庫調整が済んで実需ベースでオーダーされていることから底打ち感を感じている。

**Q6 :**

1 Q 受注 300 億円に対して、売上 282 億円の注残はどの分野向けか。

**A6 :**

スマホ向けが多い。スマホの 2 Q に向けての上昇カーブに沿ったもの。

**Q7 :**

ヒロセの高収益経営に関して、高収益のノウハウをどのように広げるかが課題と思うが、今どのようにお考えか M&A なども含めお教えいただきたい。

**A7 :**

現時点では自動車と産機向け売上が切り上がっていないが、以前から説明させていただいている 3 本柱で加速させることが重要と考える。必要に応じて M & A や業務提携の選択肢もあると考える。

**Q8：**

自動車向け伸長が具体化すると利益性が下降するリスクはないか。

**A8：**

具体的数値は未開示だが、収益性は計画・実績運用面で管理できている。

**Q9：**

収益対策でコスト削減とのことだが、自動車向けの投資を止めると中長期の売上に影響しないか。

**A9：**

自動車向け中長期向けの投資や費用投入は止めていない。

---

## **免責事項**

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。